

3つの生（生命・生活・人生）をまもる 衛生学の視点

3つの生をまもる衛生学

熊本大学医学部衛生学教室
在籍：1977年～2003年

生命

感染症対策：ペスト
コレラ，天然痘
スペイン風邪
腸チフス，日本脳炎
麻疹（はしか）

第二次世界大戦
と戦後の高度成長

結核・感染症対策

↑
労働力確保

生活

母子保健
生活習慣指導
ライフステージ・
アプローチ（幼児期、
思春期、成人期、老年期）

成人病⇒生活習慣病⇒「メタボ」対策
ハイリスク・アプローチ

↑
医療費削減

衛生学

人生

ライフコース・アプローチ
自己決定，自己実現
健康格差の解消

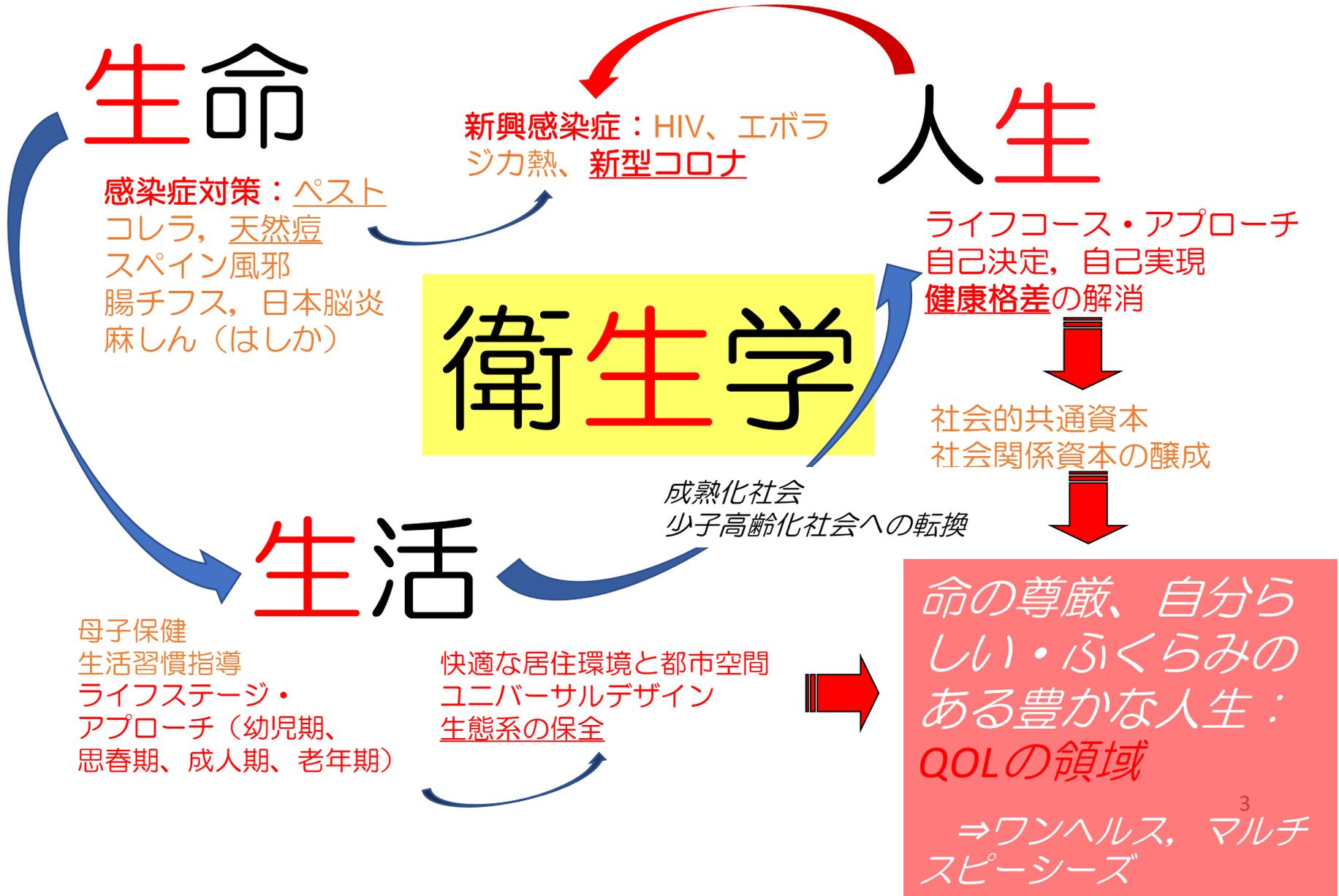
↓
社会的共通資本
社会関係資本の醸成

成熟化社会
少子高齢化社会への転換

命の尊厳、自分らしい・ふくらみのある豊かな人生

ワンヘルス
マルチスピーシーズ²

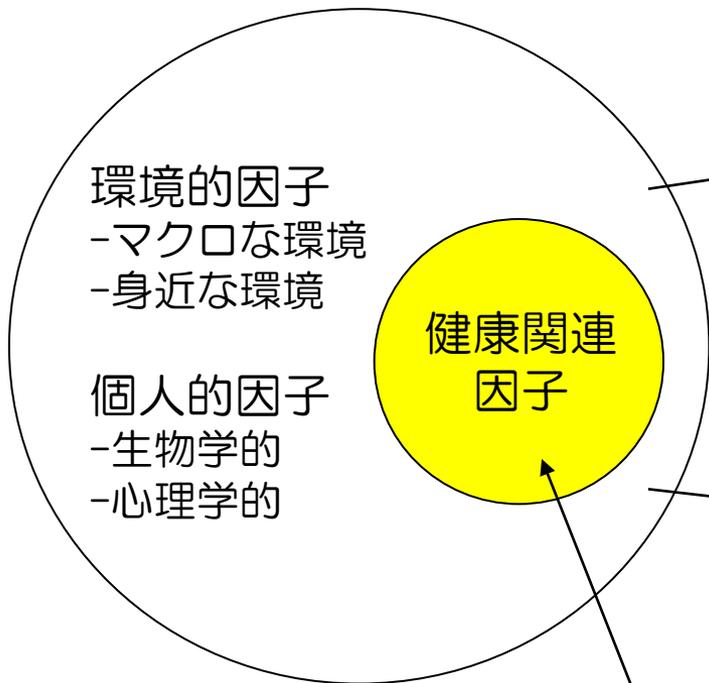
3つの生をまもる衛生学



QOLのフィールドとヘルスプロモーション

3つの生

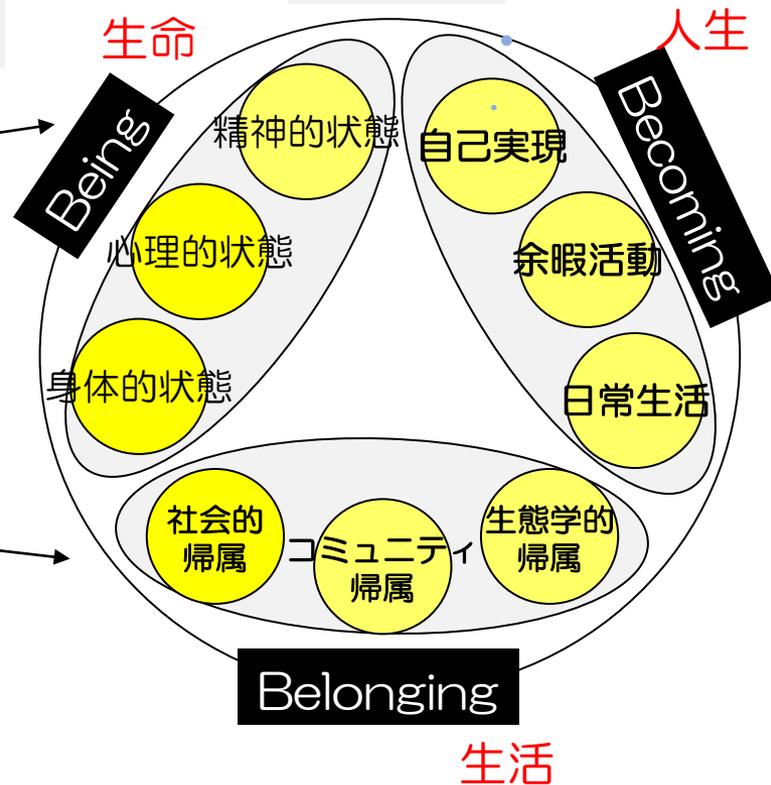
QOLの決定因子



QOLの修飾因子



QOL



ヘルスプロモーション

- ①健康的な公共政策づくり
- ②健康を支援する環境づくり
- ③地域活動の強化
- ④個人技術の開発
- ⑤健康サービスの方向転換